

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 25 年 4 月 23 日
地区/会場 修道小学校区
/修道小学校 図書室
参加者数 14 人
後日回答となった質問 1 件



《質問・意見》

観光について、レンタル自転車の促進は結構ですが、現状をみると大変危険です。外宮ー内宮だけでも、自転車道の整備をぜひお願いしたいと思います。

防災について、電柱に海拔〇〇m という表示がされましたが、あれで、住民にとっては安心感ができたのではないかと思います。ありがとうございました。

新病院建設に関連して、病院の汚水処理についてお聞きします。五十鈴ヶ丘団地の処理施設も老朽化しており、もし新病院が流域下水道と繋ぐ計画があるようでしたら、五十鈴ヶ丘団地も一緒に何とかしていただきたいと思います。

《回答》

レンタルサイクルについては、かなり危険ですか。頭に入れておきます。

海拔表示については、評価していただき、ありがとうございます。

(市立伊勢総合病院)

病院の汚水処理についてですが、現在流域下水道と繋げられるかどうか上下水道部とも協議をしています。ただ、状況としては 10 年以内には病院の付近までは難しいのではないかとのことであり、現実的には無理だと考えています。

また、処理施設を新たに建設する場合、現行と同じように、緑が丘団地との共同利用になるのか、ということについても現在検討中です。

《質問・意見》

伊勢病院への通院について、桜木町のバス停から「日赤」行きのバスは走っていますが、伊勢病院行きの直通のバスは走っていません。一旦、宇治山田駅まで出て、大回りして乗り換えもしないと行けません。せっかく伊勢病院が近くにあっても、高齢者にとっては行きたくても行けないのが現状です。

《回答》

病院と公共交通機関の問題は重要と考えるので、新病院建設の際には、うまく連絡できるように考えていきたいと思っています。

《質問・意見》

バスが話題が出たので、東京にいる娘のところに行くといつも乗るコミュニティバスのことを紹介したいと思います。運転手さんが女性の方で、お年寄りの方がたくさん乗られていて、団地を回る小さなバスですが、休日は100円と安くなったり、ステップも低く、感じのいい理想的なバスだと思っています。夢のような話ですが、この地域でもそんなバスが通るようになればいいなと思います。

《回答》

お話を聞いて、昔、私が東京の目黒に行った時に、食品メーカーが全部お金を出して、バスが循環している例があったのを思い出しました。

《質問・意見》

観光地に行った時に、その町がやさしい町かどうかはすぐにわかる方法があります。それは、まちに案内板があるかどうかということです。伊勢市も積極的に案内板の設置、整備を進めていただきたいと思っています。

《回答》

案内板のご意見はたくさんいただいております。地域の皆さんにもご協力いただきながら、埋もれているような歴史的な財産も紹介・発信をしていけたらいいかなと思います。

(観光企画課)

今年度も案内板を設置する予算も計上してありますので、御遷宮に向けて、やさしい観光地づくりということで進めていきたいと思っています。

《質問・意見》

土日・休日には、県外の方などがたくさん歩いて古市街道を歩いていけます。自宅付近は、私も出来る限り草抜き等をしており、伊勢をゴミのない、きれいな町にしたいと思います。

また、観光客の方から時々聞かれることがありますので、高速道路の側道を上がってきた信号のところに「伊勢西インター入口」の表示があるといいのではないかと思います。

《回答》

市外からの方が迷わないように、西インターは真っ直ぐという表示を掲げるということですね。わかりました。

《質問・意見》

観光の戦略として、現在は伊勢志摩地域がバラバラの感があります。伊勢・鳥羽・志摩を一本の線にして、滞在型の観光を考えれば、もっと多くの人に来ていただけるのではないかと思います。

古市街道についてですが、「道路」は非常に重要でありますので、もっと街道を歩いているような雰囲気づくりをすれば、多くの人にゆっくりと歩いてもらえるのではないかと思います。流域下水道もいいが、この地域はいつになったらできるのかと皆が思っています。費用・時

間を考えれば、市内全域が広域下水道に頼らなくても十分機能するのではないかと思います。合併浄化槽の整備も合わせて進めていただきたいと思います。

《回答》

古市の歴史には、大変古くて貴重なものがある、それらを案内することと効率よく回ってもらうこと、の両方が必要かと思えます。かといって、暮らしてみえる方が迷惑を被ってはいけないと思えます。

下水道について、市内全域にというのは、さすがにお金の面で限界があるのではないかと考えています。そういった意味ではおっしゃったように浄化槽の地域と、下水道の地域は皆さんにもきちっとお知らせをしていきたいと思っています。

《質問・意見》

古市参宮街道資料館のところに「舞台」があるが、作られた経過等も知らない人がほとんどです。かなり古くなってきており、景観が見苦しくなっています。

舞台の活用を含め、あの部分をどうしていくかということを検討してほしい。

少子高齢化についてですが、町内で自治会活動をしていて人材がいないことに危機感を感じています。市の問題だけでないことは十分承知していますが、少子高齢化の問題は、地域でも何かできることがあると思っていますので、お考えがあればお聞かせください。

《回答》

少子高齢化については、根幹のお話をいただきました。これだという答えはありませんが、ジリ貧になったときにどうするかというのと、ジリ貧にならないためにどうするのか、の二本建てで考えていく必要があると思えます。

20年後には人口が15%ほど減少し、全体の経済も縮小してくるので、若者が国内だけでなく、外国でも活躍できる機会をつくることも必要であると考えています。また、市内でもコツコツと働ける環境づくりも進めていきたいと思えます。皆さんがこれまで経験されてきたこと、皆さんの生き方の部分をいかに若い方に伝えていくかという「世代間交流」も大切であると思っていますので、地域の活動の中でも次世代に繋いでいただきたいと思います。

《質問・意見》

自治会活動をやってみて、住民登録はされていても、自治会へ加入していない方がかなり(約1割)いることがわかりました。これは自治会の活動も非常にやりにくい状態です。

伊勢市全体ではどのような状況なのでしょう。また市としてはその状態をどう考えていますか。加入率を上げる対策があれば、ぜひ教えていただきたい。

《回答》

自治会への未加入者が1割もあるというのは驚きました。伊勢市全体ではどういう状況なのかを把握し、市としての対策については検討課題としたいと思えます。

(後日回答)

平成24年4月時点での伊勢市の自治会加入率は83.5%です。今年度の加入率につきましては現在集計作業中です。

伊勢市の自治会加入率は全国平均から見ても、低いものではなかったのですが、これまでこれといった対策を講じてきてはおりません。

しかし、加入率が年々減少傾向にあり、少子高齢化が更に進み、また、全国的にも自治会未加入者の増加が懸念されてきておりますので、伊勢市としましては今後対策を講じる必要があると認識しております。

現在、伊勢市では「ふるさと未来づくり」事業に取り組んでおりますが、この「ふるさと未来づくり」の中でも自治会が中心的な役割を担っていただく組織であると認識しております。

しかしながら、自治会組織は任意団体であり、行政としては住民に自治会加入を強く勧めることができないのも現状です。

《質問・意見》

修道まちづくり会をやらせていただいておりますが、「にぎわい委員会」では古市街道沿いの名所旧跡を歩いて見ていただくためにPRをしようとしていますが、必ず話題に上るのは、公衆トイレが少ないということです。トイレの設置を考えていただきたいと思います。

現在、それぞれ別々に活動している「まちづくり市民会議」「自治会総連合会」「ふるさと未来づくり」の組織がありますが、メンバーも一部重なっていたり、同じような議論をしている場合もあると思われまますので、市としてお互いがもう少し連携の取れるようなことを考えていませんか。

夢のような話ですが、伊勢市駅前のJRの用地を駐車場にして、そこを拠点に観光客が駅前～外宮あたりをゆっくりと歩けるようにはできないでしょうか。

《回答》

言われたように、現在は連携していないので、今後考えたいと思います。

本日は、たくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

目からウロコが落ちるような鋭いご指摘もいただきました。

お聞かせいただいたご意見は、担当課に伝え、反映させていきたいと思っております。

また、古市街道等の問題は地元の方のご意見を十分聞いて進めていきたいと思っております。